

合：0度  
(コンジャンクション)  
Conjunction

## アスペクトのイメージ：合

☆☆☆

ホロスコープに現われた複雑多様なアスペクト (Aspect 座相) を正しく理解することがホロスコープ・リーディングの要ともいえます。

実際のホロスコープでは、あまりにもアスペクトの組み合わせが多いために、一つひとつ取り上げて解釈を書くことができないので、どんな組み合わせであっても、自分自身で理解するしかないものです。

多様なアスペクトを自分自身で理解できるようになるためには、基本的なアスペクトの象意をイメージでとらえて、どんな組み合わせでも応用展開できるようになることが必要です。

ここでは、アパートでもコンドミニアムでもいいのですが、円形状に12部屋が並ぶ建物にたとえて、それぞれのアスペクトをイメージでご紹介します。

### 《合 (コンジャンクション=0度) のイメージ》

円形状に12部屋が並ぶ建物があって、人が出入りしています。

合 (コンジャンクション=0度) の場合は、一つの部屋に個性や考え方の違う二人が一緒に住むようなものです。

価値観や生活感覚も違うので、二人が一つの部屋と一緒に住む場合、一般的には、意気投合してお互いに楽しく協力しあうか、逆に反発して無視しあったりしてケンカして顔も合わさらないような出来事が起こりやすいのは事実です。

これが既存の西洋占星術の解釈で「合 (コンジャンクション=0度) は、吉星どうしの合は吉座相、凶星どうしの合は凶座相」と解釈してきた理由です。

しかし、本当にそれだけでしょうか？

価値観や生活感覚が違う二人が一つの部屋に住んだとしても、同じ一つの共通目標を持ち、相手を尊重する人格や見識レベルの高い持ち主だったらどうでしょうか？

お互いに相手を補い合い協力しながら目標に向かって進むでしょう。一方に偏ることなく、多様な捉え方や対処が、可能になってまいります。

逆に、価値観や生活感覚が似た気の合う二人が一つの部屋と一緒に住んだとしても、気が合いすぎることで緊張感がなくなり、一日中二人でダラダラと過ごすことになるかもしれません。

では、誰がこの二人を適切にコントロールするのでしょうか？

星に主体意志はありませんので、ホロスコープの持ち主であるご本人の人格や見識によるしかありません。

結局、本人が星の象意をどこまでコントロールをできるタイプか、そのレベルを考えなければ正しい判断ができないといえます。

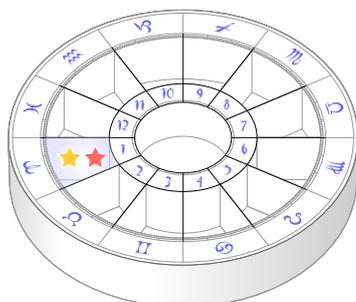
リーディングしようとしているのは、他人との関係での合 (コンジャンクション=0度) ではなく自分の中での合 (コンジャンクション=0度) なので、自己コントロールはしやすくなります。

星を「吉星」や「凶星」という区別でとらえるのではなく、アスペクトによる星の象意を、どうすれば活かせるかが重要なリーディング・ポイントになります。

### 《どちらが強い影響力をもつか》

また、合 (コンジャンクション=0度) において、次のこともイメージしてしましよ

### 合(0度)のイメージ



1つの部屋に、個性の違う2人が  
いっしょに生活するときのイメ  
ージでとらえてみる。